

知られざる古代ロマン

1泊2日の宿泊
プランは裏面!!

赤米送り 1302年目

赤米・田んぼアートの
田植えツアー
参加者募集!

一昨年は、発掘された荷札木簡に記載されている年号から数えて1300年目の節目の年を迎え、新たな気持ちで今年も赤米・田んぼアートの田植えを行います。

今年はどんなアートになるのかな!?



○ **とき**

5月27日(土)
午後1時から

○ **ところ**

南中山公民館駐車場

越前市西庄境町21-7-1
TEL 0778-43-1290

持ち物

着替え・汗ふきタオル・帽子
長靴(裸足で入っても可)
裸足の方はハイソックスをはくとい
いよ!

*南中山地区外からご参加の方は、保険料としてお一人300円をお願いします。

申 込 書

氏名		住所	
年齢	TEL		稲刈りのみ・宿泊プラン
氏名	才	氏名	才
氏名	才	氏名	才

主催：赤米送り実行委員会 申込・口ハス越前 TEL・Fax 0778-43-0879

赤米・田んぼアート田植えツアー 宿泊プラン スケジュール

参加費
大人 10,000円
幼児～小学生 8,500円
2歳未満 無料

* 5月27日(土)
昼食を済ませてお越しください
13:00 赤米・田んぼアート田植え



16:00 ラポーゼかわだ 温泉入浴
17:00 農家民宿(1泊2食)



* 5月28日(日)
9:30 墨流し体験



10:30 そば打ち体験
昼食
14:00 解散



★27日(土) 午前中こんな企画もあります。
こちらは越前市観光協会へ直接お申し込みください。

③越前和紙の産地・今立五箇の商人まち歩き ～1500年の伝統と技が息づく新在家・定友を訪ねる～



越前和紙1500年の伝統を、今に受け継ぐ、今立五箇。あちらこちらに紙漉きの工房が点在するこの地域では、細い路地や看板、古井戸、蔵、卯立など、それらの一つひとつに、ゆっくりと積み重ねられてきた越前和紙の時間を垣間見ることができます。このコースでは、商人屋敷が多い新在家と定友を散策しながら、信洋舎製紙所と福井特殊紙を見学します。また、4月にリニューアルオープンした紙の文化博物館や、伝統工芸士の職人技を間近で体感できる卯立の工芸館も見学し、越前和紙1500年の歴史・文化・技に触れます。

5月27日(土) 9:30～12:30

定員 15名
参加費 1,000円
※紙の文化博物館、卯立の工芸館入館料込み
距離 約2キロ
所要時間 3時間
駐車場 紙の文化博物館前駐車場(無料)
集合場所 卯立の工芸館

コース内容
①卯立の工芸館(集合・見学)
②紙の文化博物館(見学)
③新在家の町並み(散策)
④定友の町並み(散策)
⑤信洋舎製紙所(見学)
⑥福井特殊紙(見学)
⑦紙の文化博物館(解散)
⑧懇親会兼昼食会
(※希望者のみ、自己負担)

集合場所MAP



おすすめコメント

西野 正洋さん
(信洋舎製紙所)
先代から代々教えられてきた製法で和紙作りには携わっています。後文化も町並みも美しい今立五箇の息吹に触れて来てください。

